

SYSKENグループ人的資本経営方針

はじめに

SYSKENグループ(以下、私たち)の人的資本経営の前提となる考え方として、企業価値の向上、豊かな社会の実現、社員のエンゲージメント向上はいずれも欠くことのできない、そして、相互に依存しあう重要な経営に関するテーマです。

私たちは、社員・会社・社会のすべての成長と発展を目指し、社員のエンゲージメント向上に継続的に取り組むため、その指針となる「人的資本経営方針」を策定します。

1. 組織文化の醸成

私たちは、社員一人ひとりが理念やビジョンに共感し、目指す未来に向けて組織や職場での連帯感を生み出す活動や、社員が働きがいを実感できる制度や施策を推進します。

2. 働きやすい環境づくり

私たちは、業務改革・ICT改革による柔軟な働き方やワークライフバランスの実現により健康経営を推進し、社員が働きやすい環境を構築します。

3. 多様な人材が活躍できる場の創出

私たちは、性別・国籍・障がい・キャリアなどにとらわれず、あらゆる社員が活躍できる場を創出します。

4. 人材確保

私たちは、各事業領域に応じて必要な人材要件を明確にしたうえで、人材確保に努めます。

5. 社員の成長支援

私たちは、事業領域の拡大や新たな事業環境に対応した専門性の高い人材の継続的な育成と、社員の主体的なキャリア形成や挑戦を後押しします。

2025年11月1日

株式会社SYSKEN

代表取締役社長 上村 幸太郎